



## CHAPTER 3

# CiscoWorks NCM 1.7 のインストール

---

この章では、CiscoWorks NCM 1.7 のインストールについて説明します。CiscoWorks NCM 1.7 のインストールでは、64 ビットのプラットフォームだけがサポートされます。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「CiscoWorks NCM 1.7 のインストール」 (P.3-1)
- 「CiscoWorks NCM 1.7 インストール ウィザードまたは CLI インストーラの実行」 (P.3-3)
- 「MySQL データベース オプション」 (P.3-5)
- 「Microsoft SQL Server データベース オプション」 (P.3-5)
- 「Oracle データベース オプション」 (P.3-6)
- 「最新の CiscoWorks NCM Driver Pack のインストール」 (P.3-6)

## CiscoWorks NCM 1.7 のインストール

単一の CiscoWorks NCM Core をインストールする場合の概要を次の手順に示します。

- 
- ステップ 1** Nmap をインストールします。詳細については、「[Nmap のインストール、Solaris](#)」 (P.3-1)、「[Nmap のインストール、Linux](#)」 (P.3-2) および「[Windows への Nmap のインストール](#)」 (P.3-2) を参照してください。
  - ステップ 2** CiscoWorks NCM 1.7 ライセンスを取得します。詳細については、「[インストール中の製品のライセンス処理](#)」 (P.4-2) を参照してください。
  - ステップ 3** CiscoWorks NCM 1.7 インストール ウィザードまたは CLI インストーラを実行します。手順については、「[CiscoWorks NCM 1.7 インストール ウィザードまたは CLI インストーラの実行](#)」 (P.3-3) を参照してください。
  - ステップ 4** 最新の CiscoWorks NCM Driver Pack をインストールします。
- 

## Nmap のインストール、Solaris

Nmap では、ネットワークをスキャンして、アップ状態のホストおよびそれらが提供するサービスを確認できます。Nmap にはいくつかのインストールの前提条件があります。Nmap をインストールする前に、次のパッケージがインストールされていることを確認します。

- glib

- gtk
- openssl-0.9.7g
- pcre
- libgcc-3.3 または gcc-3.3.2 (libgcc-3.3 が優先される)

これらのパッケージは、CiscoWorks NCM Install DVD に収録されています。

Solaris プラットフォームに Nmap をインストールするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** `cd <CWNCM Install Dir>/server/ext/nmap` と入力します。
- ステップ 2** 次のコマンドを使用して、パッケージを解凍して追加します。
- ```
gunzip <filename>
pkgadd -d <filename>
```
- 次に例を示します。
- ```
cd <CWNCM Install Dir>/server/ext/nmap
gunzip nmap-3.81-sol9-sparc-local.gz
pkgadd -d nmap-3.81-sol9-sparc-local
```
- ステップ 3** 次のコマンドを使用して、<CWNCM Install Dir>/server/ext/nmap ディレクトリ内に nmap 実行ファイルへのリンクを作成します。
- ```
cd <CWNCM Install Dir>/server/ext/nmap
ln -s /usr/local/bin/nmap nmap
```
- 

## Nmap のインストール、Linux

Linux プラットフォームに Nmap をインストールするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** `cd <$CWNCM _HOME>/server/ext/nmap` と入力します。
- ステップ 2** 次のコマンドを使用して、RedHat Package Manager (RPM) パッケージをインストールします。
- ```
rpm -i <rpm file>
```
- 次に例を示します。
- ```
cd <$CWNCM _HOME>/server/ext/nmap
rpm -i nmap-3.81-1.i386.rpm
```
- ステップ 3** 次のコマンドを使用して、\$CWNCM \_HOME/server/ext/nmap ディレクトリ内に nmap 実行ファイルへのリンクを作成します。
- ```
cd <$CWNCM _HOME>/server/ext/nmap
ln -s /usr/bin/nmap nmap
```
- 

## Windows への Nmap のインストール

CiscoWorks NCM 1.7 に付属の Nmap 実行ファイルは、すべての Windows バージョンに準拠しているとは限りません。お使いの Windows バージョンに対応した正しい Nmap インストール パッケージをダウンロードしてください。

Nmap の詳細については、『CiscoWorks NCM 1.7 User Guide』の「Scanning Methods」を参照してください。

## CiscoWorks NCM 1.7 インストール ウィザードまたは CLI インストーラの実行

Windows プラットフォームに CiscoWorks NCM 1.7 をインストールする場合、CiscoWorks NCM 1.7 インストール ウィザードを実行します。Linux または Solaris プラットフォームに CiscoWorks NCM 1.7 をインストールする場合、CiscoWorks NCM 1.7 CLI インストーラを実行します。

CiscoWorks NCM 1.7 をインストールする前に、ActivePerl 5.8.x (Windows の場合) または Perl 5.8.x (Solaris および Linux の場合) がインストールされていることを確認してください。

CiscoWorks NCM 1.7 をインストールする前に、データベース オプションの詳細について、「MySQL データベース オプション」(P.3-5)、「Microsoft SQL Server データベース オプション」(P.3-5)、および「Oracle データベース オプション」(P.3-6) を参照してください。

### Windows プラットフォーム

Windows プラットフォームに CiscoWorks NCM 1.7 をインストールするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Windows のタスクバーで、[Start] > [Run] を選択します。
- ステップ 2 `<drive>:\windows_[nnnn]-[mmddyy]_setup_64.exe` と入力します。ここで、`<drive>` はドライブ文字、`[nnnn]` はビルド番号、`[mmddyy]` はビルド日です。
- ステップ 3 [OK] をクリックします。
- ステップ 4 画面に表示される指示に従います。



(注) CiscoWorks NCM をインストールするには、管理者権限が必要です。

### Linux プラットフォーム

Linux サーバに CiscoWorks NCM 1.7 をインストールするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 ルートとしてログインします。
- ステップ 2 次のコマンドを入力して、CD ドライブをマウントします。自動的にマウントされません。

```
#> mount /mnt/cdrom
#> cd /mnt/cdrom
```
- ステップ 3 `cd linux` と入力します。
- ステップ 4 `TZ=UTC` コマンドと `export TZ` コマンドを使用して環境変数を設定します。
- ステップ 5 `./linux_[nnnn]-[mmddyy]_setup_64.bin` と入力します。ここで、`[nnnn]` はビルド番号、`[mmddyy]` はビルド日です。

**ステップ 6** 画面に表示される指示に従います。

ログ ファイルに次のエラーが出力された場合は、環境変数を前述の指示どおりに確実に設定してから、CiscoWorks NCM 1.7 CLI インストーラを再起動します。

```
SQLException while trying to connect to the database.
java.sql.SQLException: ORA-00604: error occurred at recursive SQL level 1
RA-01882: timezone region not found
```



(注) Linux では GUI インストーラがサポートされなくなりました。

## Solaris プラットフォーム

CiscoWorks NCM 1.7 の場合、Solaris CLI インストーラは 64 ビットをサポートします。そのため、次の点に注意してください。

- Solaris CLI インストーラで、自動的に 64 ビットの CiscoWorks NCM がインストールされます。
- Solaris SPI では 32 ビットの CiscoWorks NCM が 64 ビットの CiscoWorks NCM にアップグレードされます。
- 64 ビットの CiscoWorks NCM にアップグレードすると、すべてのラッパー コンフィギュレーション ファイル (jboss\_wrapper.conf や syslog\_wrapper.conf など) が上書きされます。ユーザ指定の設定はすべてリセットされます。たとえば、CiscoWorks NCM を 1GB の Java ヒープ メモリで起動するように Jboss\_wrapper.conf を設定していた場合、この設定は CiscoWorks NCM のデフォルトに上書きされます。

Solaris プラットフォームに CiscoWorks NCM 1.7 をインストールするには、まず Sun の次の Web サイトから最新の Solaris パッチをダウンロードします。

<http://www.oracle.com/us/sun/index.html>

Solaris 10 プラットフォームに CiscoWorks NCM 1.7 をインストールする前に、ポート 514 でのリモート Syslog メッセージを無視するように、Solaris 10 上の Syslog サーバを再設定する必要があります。次の手順を実行します。

**ステップ 1** /etc/default/syslogd ファイルを編集して、LOG\_FROM\_REMOTE=YES を LOG\_FROM\_REMOTE=NO に変更します。

**ステップ 2** 次のコマンドを入力して、Syslog サーバを再起動します。

```
svcadm refresh svc:/system/system-log:default
```

CiscoWorks NCM は、Solaris 10 01/06 と Solaris 10 06/06 の上で実行できます。Solaris 10 の Dynamic Resource Pools 機能および Faire Share Scheduler (FSS) 機能のパフォーマンスを最大限に高めるために、Sun Fire T1000 または T2000 といったサーバ上で Solaris 10 を実行することが推奨されます。CiscoWorks NCM が動作する Solaris Zone は、専用の Network Interface Card (NIC; ネットワーク インターフェイス カード) を使用する必要があります。

次のコマンドを入力して、Solaris プラットフォームに CiscoWorks NCM をインストールします。CiscoWorks NCM をインストールするドライブに必ず変更してください。

- 
- ステップ 1** シェル プロンプトで、`su root` と入力します（必要に応じて、パスワードを入力します）。
- ステップ 2** `cd /cdrom/` と入力します。
- ステップ 3** `TZ=UTC` コマンドと `export TZ` コマンドを使用して環境変数を設定します。
- ステップ 4** `sh solaris_[nnnn]-[mmdyy]_setup_64.bin` と入力します。ここで、`[nnnn]` はビルド番号、`[mmdyy]` はビルド日です。
- ステップ 5** 画面に表示される指示に従います。
- 



(注) Solaris では GUI インストーラがサポートされなくなりました。

---

Solaris では、CiscoWorks NCM インストーラによって既存の `/etc/syslog.conf` ファイルが `/etc/syslog.conf.rm` に移動され、独自の設定を使用して Syslog プロセスが再起動されます。

## MySQL データベース オプション

インストール時に次の MySQL データベース オプションに注意してください。

1. CiscoWorks NCM で MySQL Enterprise Server 5.0.58 をインストールするには、MySQL をインストールするフォルダのプロンプトが表示された場合に、CiscoWorks NCM のインストールフォルダまたはそのサブフォルダを選択しないでください。
2. 新しいデータベースを作成するか、または既存のデータベースを使用するかのプロンプトが表示された場合、[Create New Database] オプションを選択して新しいデータベースを作成します。データベースが作成された後で、前の手順に戻らないでください。
3. 以前の CiscoWorks NCM インストールで作成された既存の CiscoWorks NCM データベースを使用する場合、[Using Existing Database] オプションを選択します。必要に応じて、データベースが現在のバージョンにアップグレードされます。

## Microsoft SQL Server データベース オプション

インストール時に次の Microsoft SQL Server データベース オプションに注意してください。

1. [Use Windows Authentication] オプションを選択しない場合、[Database Admin] ログインのプロンプトが表示されたら、すべての権限をグローバル レベルで設定していることを確認してください。
2. 新しいデータベースを作成するか、または既存のデータベースを使用するかのプロンプトが表示された場合、[Create New Database] オプションを選択して新しいデータベースを作成します。
3. 以前の CiscoWorks NCM インストールで作成された既存の CiscoWorks NCM データベースを使用する場合、[Use Existing Database] オプションを選択します。必要に応じて、データベースが現在のバージョンにアップグレードされます。

## Oracle データベース オプション

インストール時に次の Oracle データベース オプションに注意してください。

1. Database Admin Login ユーザには次の権限があります。
  - CREATE SEQUENCE
  - CREATE SESSION
  - CREATE TABLE
  - CREATE PROCEDURE
  - SELECT ANY DICTIONARY
2. データベースを設定するプロンプトが表示されたら、[Clean Database for Use by CiscoWorks NCM] オプションを選択します。データベースが作成された後で、前の手順に戻らないでください。
3. 以前の CiscoWorks NCM インストールで作成された既存の CiscoWorks NCM データベースを使用する場合、[Use Existing Database] オプションを選択します。必要に応じて、データベースが現在のバージョンにアップグレードされます。

## 最新の CiscoWorks NCM Driver Pack のインストール

CiscoWorks NCM 1.7 のインストール、またはそれへのアップグレードが完了したら、最新の CiscoWorks NCM Driver Pack をインストールする必要があります。そうしないと、機能が低下する可能性があります。

シスコのソフトウェアダウンロードセンター (<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>) にアクセスし、最新の CiscoWorks NCM Driver Pack をダウンロードしてください。CiscoWorks NCM 1.7 のインストールまたはそれへのアップグレードを実行した後、最新の CiscoWorks NCM Driver Pack をインストールします。